

PREVENTION No.347

2022年11月17日開催

怒りと飲酒のつながり—怒りの背景にある感情

金田一 賢顕(秀山会 白峰クリニック)

はじめに

臨床の現場で、飲酒に伴う怒りに触れる機会は少なくありません。また、アルコール依存症に限らず、職域や家庭でも飲酒に伴う怒り、そして時には暴力といった報告は多くなされています。しかし、怒りと飲酒の問題への介入は、そもそも「自覚」していないことが多く、その効果を促すためには、本人の「怒りに関連した感情」を分かち合いながら促すことが有効です。本稿では、これまでの怒りと飲酒についての研究の報告とともに、調査から見えてくる本人、および家族から語られる「飲酒と怒りに関連した感情」について報告をします。

1. 怒りと飲酒の関係 — アルコールが怒りに伴う攻撃性を高める

飲酒と怒りによる研究は、数十年前から行われており、その複雑性が指摘されている。アルコールと怒り、および攻撃性によるメタアナリシスでは、アルコールが怒りを伴う攻撃性を高めることが一貫して示唆されている (Bushman & Cooper, 1990; Hull & Bond, 1986; Ito, Miller, & Pollock, 1996)。そして、飲酒による怒りがパートナーや家族への暴力につながることも数多く報告されている (例えば、Lisco, Parrott, & Tharp, 2012; Leonard & Blane, 1992)。

2. アルコール消費と怒りと飲酒 — 一般集団でもアルコール消費が怒りにつながる

怒りおよび関連する感情 (過敏性、フラストレーション、イライラ) は、一般集団におけるアルコール消費およびアルコールの有害な結果と正の相関がある (Karyadi & King, 2011; Leibsohn, Oetting & Deffenbacher, 1994; Rabinovitz, 2014; Thomas, 1997)。また、アルコール使用障害のある人は、ない人に比べて、怒りと攻撃性の尺度において高いスコアを示している (Bácskai, Czobor & Gerevich, 2011; Demirbas, Ilhan, & Dogan, 2011; Handelsman et al, 2000; Kelly, Stout, Tonigan, Magill & Pagano, 2010; Leite, Machado & Lara, 2014; O'Farrell, Fals-Stewart, Murphy, & Murphy, 2003; Small & Lewis, 2004)。

3. 我が国における怒りと飲酒の調査・研究 — 我が国の飲酒と怒りの調査研究の報告

STAXI (State-Trait Anger Expression Inventory) 邦訳版を使った調査結果では、アルコール依存症者とその家族の怒り得点について断酒期間を含めて調査し、最終飲酒時のアルコール依存症本人は、一般成人集団よりも怒り得点が有意に高いが、断酒期間が長くなるに従い怒り得点が低下した。また、断酒安定期 (断酒期間3年以上) の「本人」は一般成人よりも怒りを示す STAXI 得点がやや低かったことを報告した (吉本ら, 2021)。また、「本人」が飲酒している時の「家族」の STAXI 平均総得点は、「本人」が断酒している時点と比べ有意に高かったことを報告した (猪野ら, 2021)。

4. アンガーマネジメントに基づくアルコール治療：怒り、および飲酒問題を改善する

飲酒と怒りについての介入方として、Walitzer らは、ランダム化比較試験でアンガーマネジメントに基づくアルコール治療を検証した (Walitzer, Deffenbacher, & Shyhalla, 2015)。アンガーマネジメントに基づくアルコール治療を受けた個人は平均して怒りの改善とアルコール問題の関係がより強かった。また、Walitzer は、アンガーマネジメントの導入において、たとえ本人が怒りを表出している、自分の怒りが他者に与える悪影響を十分に理解できていないために、自分の怒りを問題と「自覚」していないことがある。つまり、アンガーマネジメントに基づくアルコール治療を実施するためには、当事者が怒りに関連した感情の経験や表現にもっと気づくように導かなければいけないことを指摘している。

5. 怒りに関連した感情の経験 — 飲酒に伴う怒りは本人よりもその家族の印象が強い

筆者らは、飲酒に伴う怒りの印象について、アルコール依存症者とその家族に 87 名に調査を実施したところ、「怒りと飲酒の繋がり」に関する印象を本人も、本人と同居する家族も多くが認めた。特に、飲酒に伴う怒りに関する後悔/精神的苦痛に関しては家族の方がより強く認めた。

6. 本人とその家族から語られる怒りに関連した感情の経験 — 飲酒と怒りに伴う痛み

さらに、筆者らは、同調査における本人とその家族から語られる、自由記述に注目して、質的研究法にて怒りに関連した感情の経験を検討した。

その結果、本人の怒りの背景にある感情として、「繰り返してしまうことの不全感」「自己嫌悪と後悔」「(責められることによる) 被害的な想い」、そして家族の怒りの背景にある感情は「何をいっても届かない不全感」「家族内で広がる負の連鎖」「自分が悪いかもしれない」という負の連鎖」「『永遠』に繰り返されるような苦痛」、そして「会話ができなくなる」「孤立化」「責任に所在が曖昧」「暴言・暴力による無力感」「『永遠』

に繰り返される不安」が抽出された。

飲酒時には、会話や対話が少なく、直ちに暴力につながる。一方で、断酒が安定することにより、会話や対話が生まれ、責任の所在が明確になり、怒りや不満が現実的な不満として変化する。しかし、断酒が安定しても、家族の間で、変わらない、心や身体、人生についての傷はのこり、潜在する恐怖や怒りは残存している方もいることが示唆された。

おわりに

怒りに関連した感情の経験を知ることで、自覚をしていない本人に対して共感的な関わりから、自覚を促せる可能性があります。それは、臨床の現場で怒りに触れるとき、その理解があると臨床介入の効をなすことが期待されます。また職域や家庭でも、飲酒に伴う怒りに触れるとき、その理解があることで関わり方の幅が大きく開けてくると思われます。今後は、非アルコール依存症群への「怒りに関連した感情の経験」も調査もすすめていきます。

引用文献

- Bácskai E, Czobor P, Gerevich J. Gender differences in trait aggression in young adults with drug and alcohol dependence compared to the general population. *Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry*. 2011;35:1333-1340.
- Bushman BJ, Cooper HM. Effects of alcohol on human aggression: An integrative research review. *Psychological Bulletin*. 1990;107:341-354.
- Demirbas H, Ilhan IO, Dogan YB. Assessment of the mode of anger expression in alcohol dependent male inpatients. *Alcohol and Alcoholism*. 2011;46:542-546.
- Handelsman L, Stein JA, Bernstein DP, Oppenheim SE, Rosenblum A, Magura S. A latent variable analysis of coexisting emotional deficits in substance abusers: Alexithymia, hostility and PTSD. *Addictive Behaviors*. 2000;25:423-428.
- Hull JG, Bond CF., Jr Social and behavioral consequences of alcohol consumption and expectancy: A meta-analysis. *Psychological Bulletin*. 1986;99:347-360.
- Ito TA, Miller N, Pollock VE. Alcohol and aggression: A meta-analysis on the moderating effects of inhibitory cues, triggering events, and self-focused attention. *Psychological Bulletin*. 1996;120:60-82.
- 猪野亜朗, 吉本尚, 宗田美名子, 猪野美春, 大脇由紀子: アルコール依存症者の酩酊における「怒りと飲酒のつながり」-アンガーマネジメント技法による治療的介入をめざして-. *アルコール・アディクション医学会誌*. Vol 56 (3), 62-85, 2021.
- Karyadi KA, King KM. Urgency and negative emotions: Evidence for moderation

on negative alcohol consequences. *Personality and Individual Differences*. 2011;51:635-640.

○Kelly JF, Hoepfner B, Stout RL, Pagano M. Determining the relative importance of the mechanisms of behavior change within Alcoholics Anonymous: A multiple mediator analysis. *Addiction*. 2011;107:289-299.

○Leonard KE, Blane HT. Alcohol and marital aggression in a national sample of young men. *Journal of Interpersonal Violence*. 1992;7:19-30.

○Lisaco CG, Parrott DJ, Tharp AT. The role of heavy episodic drinking and hostile sexism in men's sexual aggression toward female intimate partners. *Addictive Behaviors*. 2012;37:1264-1270.

○Leibsohn MT, Oetting ER, Deffenbacher JL. Effects of trait anger on alcohol consumption and consequences. *Journal of Child and Adolescent Substance Abuse*. 1994;3:17-32.

○O' Farrell TJ, Fals-Stewart W, Murphy M, Murphy CM. Partner violence before and after individually based alcoholism treatment for male alcoholic patients. *Journal of Consulting and Clinical Psychology*. 2003;71:92-102.

○Rabinovitz S. Drowning your sorrows? Social exclusion and anger effects on alcohol drinking. *Addiction Research and Theory*. 2014;22:363-370.

○Small M, Lewis S. Changes in hostility in residents undergoing treatment for drug and/or alcohol misuse in a residential rehabilitation centre. *Therapeutic Communities*. 2004;25:219-235.

○Thomas BS. Direct and indirect effects of selected risk factors in producing adverse consequences of drug use. *Substance Use & Misuse*. 1997;32:377-398.

○Tonigan JS, Connors GJ, Miller WR. Alcoholics Anonymous Involvement (AAI) scale: Reliability and norms. *Psychology of Addictive Behaviors*. 1996;10:75-80.

○Leite L, Machado LN, Lara DR. Emotional traits and affective temperaments in alcohol users, abusers and dependents in a national sample. *Journal of Affective Disorders*. 2014;163:65-69.

○吉本尚, 猪野亜朗, 宗田美名子, 猪野美春, 大脇由紀子: 怒りと飲酒のつながりについて-断酒は怒りを減少させる可能性がある. *アルコール・アディクション医学雑誌*. Vol156(3): 49-61, 2021.

○Kimberly S Walitzer, Jerry L Deffenbacher, Kathleen Shyhalla, Alcohol-Adapted Anger Management Treatment: A Randomized Controlled Trial of an Innovative Therapy for Alcohol Dependence. *Journal of substance abuse treatment*. 2015;93:83-93

